

同窓会コーナー特集

大阪朝日奨学会同窓会主催のボウリング大会を6月8日(日)、大阪市北区にある桜橋ボウルで開催。現役奨学生を招待し、総勢53人が集いました。



勝を決めた。

ボウリング大会のあとは、会場を移して懇親会。引き続き白石さんの司会のもと、大阪朝日奨学会・阿納田事務局長の乾杯の発声で開会した。

ボウリング大会には、同窓生19人と現役奨学生26人が参加。今回もゲーム前に、毎年お馴染みとなった竹内孝雄さん(4期生)が作成したマニユアル『ボウリングのちよつとしたコツ?』が配られた。

学生たちの悩みや疑問に対して、自分の経験などを熱く語

つた。表彰式では、液晶テレビなど豪華賞品が特別プレゼントの千葉遥美さん(吹田市・ASA関大前)から贈呈された。



会も佳境に入ったところで橋本会長が「就職活動にあたっては、大きな声であいさつし、自信を持ってがんばって欲しい」と激励。そして、最後に、朝日新聞大阪本社・営業開発部・市村労働担当次長から「先輩たちの話を参考に、これまでの経験を生かし、進路を考えてください」とあいさつがあり、閉会した。



今回、大会を制したのはOBの遠藤実さん(25期生)。第1ゲーム145点、第2ゲーム253点の合計398点と、昨年の優勝スコアを40点以上も超えるハイスコアで優

アドバイザーに聞きました!

入会前に制度の内容などを面談で詳しく説明する朝日奨学会アドバイザー。全国に31人駐在し、申し込み者の疑問や悩みなどに親身になって答えてくれる心強い存在です。今回は、大阪府南部担当の村上アドバイザーに聞きました。



大阪府(南部)担当 村上 光代 アドバイザー

面談ではどのような話をしますか?

面談ではまず「遠慮しないでいいですよ。何でも聞いてください」と声をかけて、相手の不安を解消するように心がけています。そして、自分の長所を聞きますが、なかなか思いつかないようです。短所はすぐに出てくるみたいなんですけれどね。その後は、仕事のことや生活のことなど、経済的な面も含めてしっかりと説明して理解してもらおうようにしています。入学時貸付金を借りる場合は、特に時間をかけて説明するようにしています。

印象に残っている奨学生は?

一番最近では、配達業務をきちんとこなしながら、京都から大阪へ就職活動に通って、希望していた金融機関にみごと就職が決まった学生です。OASに登場して、その記事を読んだときは、本当にうれしく思いました。修了式で会ったとき「OASを読んでくれましたか」と聞かれました。

朝日奨学制度について

奨学金や給料などの収入が安定しているから、経済的な理由で進学をあきらめようと思っている人や、親に経済的な負担をかけないで進学したい人にはとても良い制度です。販売所での体験の積み重ねが、心と体を強くし、社会性やコミュニケーション力も高められます。こういった制度の存在をもっとPRしていかなければいけないと痛感しています。

これから奨学生を目指す人に一言

自分に仕事と勉強の両立ができるかどうか不安に思う方もいらっしゃいますが、まずは行動すること、チャレンジャーを熟読して、アドバイザーに電話で尋ねたり、説明会に参加するなどして、あきらめないで行動してほしいですね。

新年の「あけましておめでとう」



大阪朝日奨学会 事務局長 阿納田 勉

あけましておめでとうございます。

今年が「丑」の年です。毎年のように、日本の首相が変わり、グローバルな嵐の影響で、世界も急速に変化して、われわれの進む方向も、混沌の中にあります。しかし、今年の安寧を思いつつ、どっしりと腰をすえていきたいものです。

必然、偶然を味方に、衆知を集め、流れを読みながら、進みたく念じています。新聞界の動向によつては、制度の運営にも、多少なりとも影響が出てくるかもしれませんが、今年一度、制度の意義を再確認しつつ、今年も関係のみなさまのご協力をお願いする次第です。

最後になりますが、日頃、奨学生のみなさんの地道な努力と、ASAのサポートに感謝申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

お知らせ

事務局員の担当地域は左記の通りです。

■山内 京都市、滋賀

■櫻井 阪神、広島

■庄司 金沢

■前川 大阪府(北部、南部)

■香川 大阪府(中部)

■神戸、岡山